

新型コロナウイルス感染拡大防止のための

援助活動中のお願い

堺市ファミリー・サポート・センター

9月に入っても厳しい暑さが続いています。また7月末以降、新型コロナウイルスの感染が広がってきたことで再び不安が増している方も多いと思われます。コロナ禍のなか、「援助活動をやってますか」という問い合わせがありました。活動の休止はしていません。ただし、援助活動において下記の内容を確認いただき、「感染しない」「感染させない」よう、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

日常生活では

- **日々、家族の健康チェックをしましょう。**

毎日、検温をして健康管理を行いましょう。発熱や風邪症状があるときは、援助をキャンセルしましょう。お子さんやご自身だけの体調だけでなく、ご家族についても同様の症状があるときは活動を控えてください。

- **手洗いや手指の消毒などをこまめにしましょう。**

むやみに顔、目、鼻、口をさわらないことも大切です。

- **マスクをつけるときは熱中症に注意しましょう。**

高温・多湿の中でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなると言われています。屋外など、人との距離が十分とれる場所ではマスクを外すようにしましょう。ただし、2歳未満のお子さんにとってマスクは呼吸をしにくくさせることから使用するはやめましょう。(日本小児科医会より)

- **3つの密（密閉・密集。密接）を避けましょう。**

人との距離を取りましょう。体調が悪いときは外出を控えましょう。

援助を受けているときは

- **預かりの援助で提供(両方)会員のお宅に行ったら、まず、子どもと一緒に手を洗わせてもらいましょう。**

- **感染症対策とともに熱中症対策も**

子どもが使用するタオルを必ず持参しましょう。(タオルの共有は感染につながります)子どもが水分補給できるよう、お茶などの飲み物を持参しましょう。

- **活動中に発熱等が見られた場合は、すぐに活動中止とします。**

活動前に当日、確実につながる依頼会員の緊急連絡先を提供(両方)会員に伝えましょう。熱などで子どもの体調が悪くなったなど連絡を受けた場合は、速やかに子どもの迎えをお願いします。

堺市ホームページから、日常生活に感染予防を定着させていく『堺スタイル』についてご覧になれます。

※ファミリー・サポート・センターで加入している補償保険は援助活動中においてけがや事故を被った場合に対する補償であり、新型コロナウイルス感染症は対象となりません。

※新型コロナウイルスを理由とした偏見が生じないようにするなど、子どもの人権に十分配慮をお願いします。